

## Xross Innovation BOSAI 第 2 回交流イベントに参加しました (2026/3/18)

テーマ：地震火災被害削減、産学官金民連携  
会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

2026年3月18日(水)、Xross Innovation BOSAI コンソーシアム主催による第2回交流イベントが開催され、当研究所から今村文彦教授(津波工学研究分野/副学長(社会連携・校友会・基金担当))が参加しました。Xross Innovation BOSAI コンソーシアムとは、災害リスク削減のため、産・学・官・金(金融)・民が連携し、それぞれの主体が有している特長や強みを掛け合わせるにより新たなイノベーションや防災サービスの創出を促進する連携体で、11企業・組織の参画を得て2025年8月に発足したものです。

今村教授は「10年後の防災ビジネスの未来像と企業の役割」と題した基調講演のなかで、去る3月14日に開催された仙台防災未来フォーラムが過去最大の出展者数を得て成功裏に終了したことに触れつつ、防災への取組を継続することの重要性を述べました。また、防災意識の面では、日本には祝祭行事など古くからの文化や習慣に埋め込まれた災害の教訓を伝承する知恵が根付いており、忘却や世代交代による記憶の減退を受け入れつつも防災やリスク軽減のための取組を継続し防災文化として醸成することにより、地震多発地帯であっても災害を克服していくことが可能である旨を強調しました。

続いて行われたショートピッチ・セッションでは、コンソーシアム構成企業からの活動内容が報告され、それぞれの企業の顧客接点を活用した意識啓発の取組、防災関連用品の有効活用策などの取組や企業間連携による防災関連サービスの創出事例が紹介されました。また、自由討議の時間が設けられ、本会合への参加者同士でさらなる協業の可能性や新たな取組のアイデアなどについて自由闊達に意見交換がなされました。

当研究所は、本組織の活動を通じて、研究成果の社会実装を加速させ、市民一人ひとりの防災意識と行動変容を促し、社会の防災力向上へと繋げる活動を継続してまいります。



基調講演する今村教授



ショートピッチ・セッション  
における自由討議の様子